
センサー、センサー、センサー。

真崎麻佐

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

センサー、センサー、センサー。

【Nコード】

N2256C

【作者名】

真崎麻佐

【あらすじ】

個人面談。面と向かいあつての生徒と教師の会話。少年らしい悩みに先生が答えます。

「センサー、センサー、センサーはどうして教師になったの？」

個人面談の真最中、本来質問する側の教師が何故か質問されていた。彼の目の前で少年はニンマリと意地の悪そうな笑みを浮かべていた。

「お前なア、いい加減、話を逸らすの止めようよ」

教師の里見はボリボリと頭を掻いた。チロリと生徒、八田の方を見ると、全く話を聞いていない。

「はいはい、じゃあ第一志望はどこデスカ」

片肘を付きながら、名簿をパラパラとめくり、ヤル気のない声で尋ねた。今日は既に5人と面談をした。八田でラストなのだ。

「センサーこそ、ヤル気ないじゃん」

八田は口を尖らせた。今度は里見がそっぽを向いた。

「第一志望ねエ。何かヤル気削がれる……」

「元から無いだろが」

「色々と悩むんだよね。なりたいモノになれなかったら、とか」

八田は里見のツツコミを気にする事なく、ブツクサと文句を続けていた。そして急に里見を見た。

「だーからー、センサーに体験談を聞きたいのッ！」

ドンツと音が鳴りそうなくらい机を叩いた。鈍い音がする。

「……体験談ね」

「うん、体験談！」

うーん、と里見は黙ってしまった。八田は早く早く、と里見を急かした。

「何だよ、金八に影響されたとか、そんな理由？」

ムツとしながら八田は言った。教師の返事が遅いのに業を煮やしたのだ。すると次の里見の行動は素早かった。

「あー、そりゃナイナイ。俺、金八見たことないもん」

「そうなの？」

「おう。昼寝の時間だった」

「どんな青春」

「またもや八田の顔が苦々しくなった。」

「じゃあ、なんでまた教師に？」

「……就活、全部落ちたんだよね。あ、泣きそう。コレまだ引きずってるからサ」

しばらく二人の間に沈黙が流れた。里見は目頭を押さえている。八田はポカンと口を開けたままだ。

「もしかしてそんな理由？」

「ああ。そうだけど？」

「すげ、くだらない」

「うっぜー！何だよ、人に無理矢理聞いといて」

里見は八田に向かって思いつ切り文句を言った。八田も八田でブー文句を言っている。

「もっと夢のある理由が良かった」

「現実はこのまんさ」

里見は微笑みながら、俺の場合はな、と付け足した。

「あーあ、近くにいるオトナがこんなじゃなー」

「オイオイ、夢の職業に就けなくてもそれが敗者だとは言えないぜ？」

「なんで」

里見がニヤアツと笑った。

「教師になつて良かったと思ってる。俺の勝ちだ」

「……さっき引きずってるって言った癖に」

「アレはアレ。コレはコレ」

「うわ、オトナの言い訳だね」

「うっさい」

「もういいよ、センサーなんてアテにしないから」

「反抗期か」

「じゃ」

八田はカタリと席をたった。

「は？おい、ちょ……まだ終わってねエんだけど」

いいんだよー、なんて言いながら、八田は部屋を出た。里見はハアと溜め息を付き、立ち上がりかけた体を元に戻した。パラパラと冊子をめくる。教室には静けさしかない。

「厭味な笑い方しやがって、あんにゃろ」

クツクツクツと、里見は素直じゃない生徒を思い出して笑った。

(後書き)

読んでいただけて感謝です。よろしかったら評価・感想をお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2256c/>

センサー、センサー、センサー。

2010年10月9日02時13分発行